

ITB (Information Technology B)

担当教員名:准教授 深田 守、講師 藤原 洋一、助教 石川 誠司

【概要】

「IT(情報技術)」の進展は非常に早く、現在のコンピュータやネットワークも近い将来、その形態をかなり変える可能性がある。その場合に基礎を理解しないで、ただパソコンの操作法に習熟しているだけでは、せっかく覚えた技術も遠からず陳腐化してしまうであろう。一方、社会における「IT」の重要性は減ることなく、ますます増大することは確かである。したがって情報化時代に取り残されないためには、授業でも基礎のところをよく理解しておくことが重要である。実はそのことが同時にパソコン操作法を含めた「IT」活用の上達に至る近道でもある。

【授業の一般目標】

第1演習室で各自のパソコンから、LAN内の授業用ホームページにアクセスし、画像や動画などのマルチメディア教材を使用する授業形態をとる。内容としては、まず「ITA」で学んだコンピュータやネットワークの基礎知識をさらに深めていく。また、ワープロソフトや化学式作成ソフトなどのアプリケーションの実践的応用を取り上げる。さらにホームページを作成することにより、マルチメディアやインターネットを受動的に利用するだけでなく、自らの情報発信力を身につける。

【成績評価方法・基準】 定期試験の成績、提出課題および出席率等で評価する。

【備考】(担当教員に対する質問等の連絡方法)

演習室には複数の教員がいるので、授業中に分からなくなった場合、遠慮なく質問して授業の進行に遅れないようにすること。また授業終了後も質問は随時、情報処理教育研究センターで受け付ける。